

赤ちゃんへのプレゼント ママの笑顔 パパと過ごす時間

昨年11月11日徳育保健センターで行われた推進委員企画によるこの講座には、赤ちゃんパパ、ママ9組の参加がありました。

ママには、ヨガのリラックスタイムを過ごしてもらい、その間パパと赤ちゃんは、講師の先生に遊び方を教わりながら、楽しいひとときを過ごしました。パパが、赤ちゃんの面倒を見てくれたので今日はとてもリフレッシュできたママ。

パパたちは、はじめて1時間以上も1人で子供の面倒をみることで、日頃の子育ての大変さを実感したようです。また、「他のお父さん達と子育ての悩みについて話したり、交流を持つことが出来てよかった。」「これからも父親同士、子育ての情報交換や交流の出来る場が欲しい」との積極的な意見も聞かれました。

お互い大変さを知り、心からありがたい感謝の気持ちを持ち、赤ちゃん3人で笑いあっている姿がとても素敵でした。



なりたい自分になるためのわたしプロジェクト

1/23、2/13・28に徳育保健センターで講師に須田智恵美さんを招き、子育てママ応援講座「なりたい自分になるためのわたしプロジェクト」が開催されました。



13名が参加し、これからの生き方や夢をかなえるための講義を聴き、自分とじっくり向き合う時間を持つことが出来たようでした。

男の生き方セミナー

2/9・23、3/8の3回シリーズで徳育保健センターを会場に「男の生き方セミナー～これからは面白い第二の人生～」が開催されました。

定年後の男性約30名が参加したこの講座では、「人生再設計のすすめ」「ファッション」「料理」をテーマに参加者同士が交流を深めながら、自分らしい生き方を探そうと学びました。



かけはし

「かけはし」には、男性と女性、さらには人と人、行政・家庭・職場・学校・地域などを互いにつなぎ合う「かけはし（架け橋）」になれたら…との思いが込められています。

夫婦で対談「ともに生き活き 女と男」

一ひとあじ違った男女共同参画フォーラム

「男女共同参画フォーラム」が、昨年12月15日掛川市生涯学習センターで開催されました。

オープニングは“大東ふるさと太鼓”の迫力ある演奏で幕を開け、続いて男女共同参画を身近に考えてもらおうと、掛川市男女共同参画推進委員会が寸劇「風流家人」を披露しました。定年退職後の夫婦の微妙な感情の違いや、若い夫婦の協力的な様子をコント形式で演じ、会場の笑いを誘う場面もありました。

講演会は“女と男のいい関係～ともに子育て自分育て～”と題して広岡守穂・立美夫妻による対談形式で行われました。現在の職業は夫が中央大学教授、妻が石川県議という異色のカップルですが、同級生同士20代で結婚し、5人の子どもを育てたそうです。最初の子にはずいぶん厳しくあとは自由奔放に育てたこと、子育て中は周りに助けられたこと、そんな中で自分育てができたことなどを二人で思い出すように語られました。

また、夫婦お互い認め合い誉める、「この人と会ってよかった」と気づく、深い人間の尊厳をお互いを感じるなど、お二人の温かい家族のあり方、夫婦の絆を伺い知る事ができました。障害を持つ孫が生まれてその子から学ぶことが多いことや小さなことでもみんなで一歩ずつやっていたら社会を変える事ができるなど、静かな語り口で赤裸々に話されました。講演後の質疑では、若い参加者から「お二人の生き方に感動しました」という涙ぐんだ発言もあり、心に余韻の残る講演会でした。



対談する広岡守穂・立美夫妻

走れ子育て隊・子育てはみんなの手で!!

1月13日、つま恋で行われたランラン駅伝に男女共同参画チームとしてエントリー。「少子化の克服には、子育てはみんなの協力」という思いを込め、出産からパパや周りの人たちの協力を得ながら子育てしていく様子を、ストーリー性を持たせて仮装して走り観客たちにPRしました。見事、パフォーマンス部門のランラン賞をいただきました。

女性議員と語る会

数少ない女性議員の桑原百合子・戸塚久美子両議員をお迎えし、推進委員との懇談会が行われました。環境問題をはじめ、女性議員が増えない理由などについて、活発な意見交換をしました。「掛川大好き」そんな思いが言葉の端々に感じられるお二人でした。



勇壮な“大東ふるさと太鼓”



推進委員による寸劇

男女共同参画的川柳

朝ごはん

今じゃピカイチ

夫の腕前

(さお様35歳女)

レディースデー

早く作ってメンズデー

(千愛のパパ)

引き続き川柳・かるたのご投稿お待ちしております。

仕事と生活の調和元年

～男性の子育てにみるワーク・ライフ・バランス～

お互いを認め合う関係に

渥美 二郎さん (東山口)

二郎さんは、今春中学生になる娘さんと二人暮らしです。彼女が小学校入学と同時にシングルファーザーとなり、家事や育児をすることに。初めは苦労した料理も、今では体に良い食物を工夫して取り入れるなど「家事も育児も大好き！」と言います。

二人で習うバイオリンではライバルだそうです。一緒にコンサートにも出掛けたりしています。鯨を見に沖縄に行きスキューバダイビングを楽しんだり、海外旅行で訪れたデンマークでは、男女共同参画社会を実感し、「日本はもっと女性の社会参加、男性の家庭参加が大切。」と話して下さいました。子供と一緒に時間を大切にしながら、自分の時間も輝かせる、すてきなパパさんです。



広がれ！
子育て支援
地域の輪

子育て
ほのぼの
すごろく

とれたて
新鮮情報
今が旬！

とにかく子育てには喜びがあふれている

岡本 孝さん (浜川新田)

孝さんは、1歳の女の子の新米パパです。夫婦共働きなので、妻の志保さんと協力しながら、子育てに奮闘されています。孝さんの悩みは、日々成長していく子供の育児に関わりたいたいが、帰宅が遅くなるためゆっくり触れ合えないこと。もうひとつは、パパたちへの育児に関する情報が少ないことだそうです。そんな中で参加した「新米パパとママのための子育て講座」では、他のパパたちと交流をしたり、ママの大変さを理解されたようでした。



助け合い 楽しく子育て

鈴木 幸典さん (沖之須)

スズキ自動車(株)勤務の幸典さん。専業主婦の千代子さんと9才と6才の男の子2人の4人家族です。

幸典さんは、海外出張も多く、月の半分は家を留守にし、帰宅も10時過ぎ。朝、出勤前のわずかな時間が子供たちと過ごす大切なひとときです。そのため、家にいる時はたっぴりと子供たちと向き合うようにしています。

「家にいる時にじっくりよりも、本当は毎日夕飯を一緒に食べて欲しい。」と願う千代子さんですが、一方では「休日にはパパと子供たちで掃除をしたりして、私に自由な時間を作ってくれます。」と感謝もされているようです。ご夫婦で助け合いながら、充実した子育てをされている、ステキなお二人です。



リフレッシュ
休暇
ひとやすみ

子育ては自分育て 夢育て！

渡辺 祐治さん (園ヶ谷)

定年退職後、掛川市赤十字奉仕団の募集が目にとまり入団。約430名中掛川支部では男性は二人ですが、広くボランティア活動されています。

「若いころから、家事も子供の世話もよくやりましたよ。家族のため、地域のためといっても結局自分のためですね。」と渡辺さん。何事にも前向きで、これからもボランティア活動の輪を広げ、人を思いやる気持ちや支え合うぬくもりを地域の子供たちにも伝えていきたいと、意気込みを話して下さいました。



お誕生日で
ノー残業デー

自然と家族がおりなす パパの喜び

松浦 雅広さん (東山)

お茶専業農家の雅広さん。四世代の8人家族で、お子さんは6歳と8ヶ月の女の子、4歳の男の子ととてもにぎやかです。「嬉しいことは、美しい自然の中で子供らと触れあえる時間が多いこと。喜びは、一家団らんで朝夕の食事が出来ること・・・」さりげない言葉に、現代社会が失いつけているものがあり、うらやましさを感じました。

お茶の時期には、乗用摘採機に子供を乗せて、お茶刈りすることもあるそうです。地域の活動にも積極的で、幼稚園児の茶摘み体験なども喜んで受け入れています。

幼稚園の送り迎えはもちろん、8ヶ月のお子さんの着替えからオムツ交換まで自然体でこなす、3人のお子さんの良きパパです。

子育てと地域活動の融合を目指して！

藤澤 無学さん (干浜)

無学さんはお寺のご住職で、3歳の女の子と妻の3人で暮らしています。掛川市ファミリーサポートセンターの提供会員(注1)として、自分の経験を活かし、子育てをサポートしています。

「子育ての基本は、元気に育てること、そして子供と共に成長すること。」と無学さん。子供たちと触れ合うなかで、学ぶこともたくさんあるそうです。

愛知県から掛川に引っ越して5年。お寺を子供たちが多く集まれる楽しい場所にしたいと、ご夫婦で子育てと地域活動を融合させる努力をされています。子供たちにとっても、楽しくて、安心できるそんな場所になるといいですね。



8時だよ!! 僕と娘のI LOVE 湯

丸山 智宏さん (長谷)

智宏さんは、3ヶ月の男の子と3歳の女の子のパパです。「お風呂当番の日は、仕事が終わると真っ先に家に帰るんですよ。子供たちの笑顔が1番!!」と満面の笑みで話して下さいました。

智宏さんの勤務先の資生堂では、小学校入学前の子供が病気になる時の看護休暇や育児休暇が取得可能なため、智宏さんは一週間の育児休暇を取り、ママの職場復帰を手助けしたそうです。仕事と育児の両立は、夫婦のパートナーシップはもちろんのこと、保育園を活用したり、祖父母の手助けや職場の理解と協力が必要です。今時のパパ・ママは、情報収集に敏感で、すぐに子育てに反映していて頼もしさを感じました。

(注1) ファミリーサポートセンター

「依頼会員」(子供を預けたい人)「提供会員」(子供を預かる人)による「子育てたすけあい組織」です。依頼を受け、事務局が調整し、提供会員の自宅でお子さんを預かります。

事務局(掛川市役所福祉課内)
TEL 21-1140 月～金 8:30～17:15

暮らしや子育ては一人ひとりのハートから。家庭や仕事、地域活動、それぞれを大切にしながらワーク・ライフ・バランスで生活にゆとり、地域に輪をもたらしてくれるといいですね。

子育て情報パンフレット

こどもといっばい遊んじゃおう!

このパンフレットには子育て中の家庭に必要な情報がコンパクトにまとまっています。市役所、徳育保健センター、図書館、つどいの広場、子育て支援センターなどで配布しています。

